

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点での事故・事件に関する情報収集の手段がなかった。
事業実施後の状況	交差点での情報収集ができるようになった。
事業の効果	防犯カメラがあることにより、事件の抑止効果が期待できる。また、事故があった時に客観的な情報源になっている。
今後の課題等	監視地域のカバー率がUPしたが、まだカバーできていない地域が3割ほどある。今後の課題として池田市警察と協議を詰めていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業①（渋谷会館）
事業実施前の状況	設置されている和机の損傷が激しく危険であり不便であった。
事業実施後の状況	快適で使いやすくなった。
事業の効果	安全で使いやすくなり会の準備・進行がスムーズになった。
今後の課題等	今後も公共施設の備品の運営・維持・管理に尽力していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域掲示板設置事業（市実施事業）
事業実施前の状況	地域掲示板7台について、あまざらしで画鋏を使うタイプだったので掲示物が飛んでいき作業が不便であった。
事業実施後の状況	ガラス戸でマグネットの掲示板7台を設置した。
事業の効果	ガラス戸でマグネットの掲示板を設置することにより、掲示する人も楽になり掲示物が風雨にさらされることがなくなった。
今後の課題等	掲示板を定期的にチェックし、維持管理に尽力していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	設置された掲示板の防水が不十分なため傷みが激しく、また画鋏で止めるタイプのため掲示作業が困難であった。
事業実施後の状況	掲示板に鉄板を張り防水加工を施した。
事業の効果	防水力が強化され、マグネットでの掲示になったので、作業がスムーズに行えるようになった。
今後の課題等	掲示板を定期的にチェックし、維持管理に尽力していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	南畑会館のAED本体と、他の備品の使用期限が来ていた。。
事業実施後の状況	南畑会館のAED本体の入れ替えを行い、他は必要な備品の交換を行った。
事業の効果	使用期限を遵守し必要な時期に手当てをすることにより、住民の安全安心な生活に貢献している。
今後の課題等	AEDは引き続き適切に管理していくが、救命講習会などを通じて、より一層の安全意識の向上に努めていく必要がある。今後については、救急車を呼べば5分以内に到着する地域であることから、設置の是非を考えていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	畑1丁目に5差路があり2つしかカーブミラーがないので私道に対しての危険を回避できなかった。
事業実施後の状況	私道ではあるものの、地域住民の安全のため、3つ目のカーブミラーを設置した。
事業の効果	今まで死角だったところが見やすくなり、地域住民がより安全に暮らせるようになった。
今後の課題等	今後も地域住民の安全に対応していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	秦野小学校スポーツ器具等支援事業
事業実施前の状況	バレーボール支柱が重く老朽化しており運搬が難しい。小学校のチューバが壊れていて替えがない。
事業実施後の状況	カーボン製のバレーボール支柱とチューバを購入した。
事業の効果	軽い支柱を購入したことにより運搬が楽になり危険を回避することができるようになった。チューバを購入したことにより壊れる心配が軽減された。
今後の課題等	教育委員会と協議し必要な備品整備に協力し、子供達の健全な育成に貢献していきたい。教育委員会とのコミュニケーションをより強化していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	「秦野まちづくりだより」を写真をより多くして見やすいものにし、行事にはより広くわかりやすく記事内容の充実に努めた。
事業実施後の状況	年3回発行することが定着してきたこともあり、地域での認知度は高まり協力者が増えている。
事業の効果	わかりやすい紙面づくりは好評で関心や認知度も上昇している。地域行事の内容を写真も使い、より詳しく伝えることで地域内の活性化につながっている。
今後の課題等	今後も活動のPRを進めて地域住民とのコミュニケーションを向上させていきたい。協議会の会員の募集も含め、啓もう活動に努めたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	事務所兼コミュニティサロン開設事業
事業実施前の状況	地域の拠点がなく、会長の自宅が事実上事務所となり、会員も含めPC・プリンター、電気代等が自己負担となっていた。拠点がなくコミュニティが何をやっているか具体的に理解してもらえなかった。
事業実施後の状況	会長、会員の自己負担が多少は削減された。毎週日曜日に開放することにより地域の方々の来訪がありコミュニティについての説明ができるようになった。
事業の効果	会長、会員の自己負担が多少は軽減でき、地域住民への情報発信が円滑に行えるようになった。
今後の課題等	以前の状態で借りたので使い勝手が悪いので、整備・改善し利便性を高めたい。事務所の開放日数を増やし地域の皆さんへの使用頻度を高めたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業②（南畑会館）
事業実施前の状況	会館の物品を置くスペースが少なく、備品の管理が不十分であった。
事業実施後の状況	キャビネット2台、棚2台を設置した。
事業の効果	キャビネット・棚を設置したことにより、備品の整理が改善され管理がスムーズにできるようになった。
今後の課題等	公共施設の備品の運営・維持・管理をより一層充実していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域ギャラリー維持管理事業
事業実施前の状況	1か月ごとに作品入れ替えをしている。地域の催しの写真なども使い紹介した。幼稚園の作品展示も継続的になっている。
事業実施後の状況	会員の負担も軽減されスムーズに運営が行われている。地域事業の発信・住民の作品展示・地域イベントの写真などを多く展示し、広報活動に努めた。幼稚園、こども会などの掲示も多く好評である。
事業の効果	毎年、新しい作品が増えている。 認知度がさらにアップしている。 通行人の方にもよく見ていただいている。
今後の課題等	作品集めはまだまだ必要と感じている。 今後も根気強く広報活動を続けていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	校区盆踊り大会事業
事業実施前の状況	スポーツ振興会・子ども会等で開催している。 コミュニティ意識の高揚をはかる。小学校の耐震工事が終わったため、広いグラウンドで開催できた。
事業実施後の状況	備品などで共同開催を支援しており、参加人数も増加している。盆踊りの習得を促進するため小学校の体育館で2回練習会を行った。広いグラウンドでいい会を行うことができた。
事業の効果	盆踊りを継続的に実施することにより、地域の親睦が図れ子供達の参加率も上昇している。 練習会は好評で盆踊りの参加率向上に貢献している。
今後の課題等	盆踊りの練習会を増やし踊りの習得率を高めて今後も開催・運営を支援していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域イベント活性推進事業
事業実施前の状況	秦野小学校の耐震工事のため、あおぞら de はたのフェスタは渋谷中学校で行った。テントを購入し天板を軽いものに入れ替え、備品が拡充・整備された。
事業実施後の状況	秦野小学校の耐震工事が終わったため、秦野小学校体育館・あおぞら幼稚園の園庭と遊戯室で開催した。備品の拡充にも努めた。
事業の効果	あおぞら de はたのフェスタを秦野小学校に戻って行ったため周辺住民への認知度がより高まった。備品整備により、地域行事の円滑な活動に貢献できた。
今後の課題等	今後はあおぞら de はたのフェスタを秦野小学校で行う。地域住民の参加率の向上に向けてさらに努力していきたい。備品の維持管理の精度を向上させていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	秦野地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	今回で5回目の事業。渋谷中学校・地域の各団体と連携して行った。
事業実施後の状況	保護者・保護者OB・教職員・地域の方々が参加し、およそ20回の活動を行い、菊づくりを中心に草花の栽培に対して支援した。 苗・土・肥料・鉢・プランターなどの用具も揃えることができた。
事業の効果	咲いた菊を中学校の文化祭で展示することにより来訪者を和ませた。あおぞらdeはたのフェスタでも展示・販売を行い、認知度はさらに高まっている。また各会館・施設にも分けて喜ばれた。
今後の課題等	今後も継続的に支援していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	自然学習講習会・昆虫育成事業
事業実施前の状況	自然学習講習会、カブト虫養育場での幼虫掘り起し、腐葉土の入替を行った。
事業実施後の状況	雨のため渋谷会館で育成教育を行い幼虫を掌に載せる体験をし、雨が上がったため渋谷公園で幼虫掘りをした。天候のせいか幼虫は25匹ほどしか見つからなかった。腐葉土の入替を行った。
事業の効果	初めて幼虫を掌に載せた子供もおり貴重な体験になったと思う。幼虫を掘り起こし自宅で幼虫育成観察日記を作成することにより自然の営みを学習できたと思う。養育場の土の入替をすることにより、土壌の清潔さが保たれる。
今後の課題等	かぶと虫の養育を通じて今後も子供達に自然の大切さを訴えていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	うたいっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	2回目の実施で練習や会場設営は順調に行えた。地域への広報活動、特にキャロリングの道順について改善を行ったので好評であった。
事業実施後の状況	公募で集まった老若男女の団員が地域をキャロリングして小学校の体育館でミニコンサートを行い、地域交流を図った。体育館の舞台を横に使ったことは好評であった。
事業の効果	事業を継続実施することにより、定着しつつある。うたいっぱい運動に対する地域住民の理解も深まり音楽文化の普及に貢献できてきている。
今後の課題等	団員の拡充と広報活動の強化を図りたい。歌うことによりみんなを笑顔にできるよう、今後も継続して支援していきたい。9月に募集して12月に終了するため今後は持続性を持たせていきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	キッズランドでの文具等がまだ足りない。古いものの入れ替えができない。
事業実施後の状況	文具や遊具等が増えた。
事業の効果	遊びの幅が広がり、楽しんで過ごしている。
今後の課題等	まだ文具等が足りないし古くなっているので、継続的に支援する必要がある。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域内子ども会等活動支援事業
事業実施前の状況	能勢の自然の家で野外炊事を行い、火をおこしたり食事を作る大変さを体験した。皿の絵付けを行った。
事業実施後の状況	子ども会だけを対象にするのではなく広く地域の方々に参加を呼びかけ、秦野小学校のグラウンドで雪遊びを行った。 子ども会対象には教学の森で野外炊事を行った。
事業の効果	長野県栄村から10tダンプ3台の雪を運んでもらい雪遊びを行ったことにより、普段雪を見ることのない子供たちが自然を体感することができた。野外炊事をしたことにより火おこし等自然に対応する力が少しは蓄えられたと思う。子ども会相互の知識の共有を図り親交を深めることができた。
今後の課題等	バス代、入場券の高騰に対応して引き続き支援していきたい。

平成30年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	グラウンドゴルフ実施事業
事業実施前の状況	地域住民が親睦を深めるためグラウンドゴルフ大会を行う場合、市所有のため使えないことがあった。
事業実施後の状況	グラウンドゴルフ用品を5セット購入した。
事業の効果	グラウンドゴルフ用品を購入したことにより、いつでも大会を行うことができるようになった。
今後の課題等	各世代に応じたスポーツを通じたコミュニケーションを普及させていきたい。

平成30年5月23日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	地域の協力も受け、運動会の準備を行ったが、雨天中止となったが協力者の親睦会を行い交流を図ることができた。
事業実施後の状況	小学校の建て替え工事が終了したため、元の広さで運動会を行うことができた。
事業の効果	地域・こども会の協力により、交流を図ることができた。
今後の課題等	自治会、こども会入会者の減少は止まらない。今後は地域住民の参加率向上を図り、こども会等の発展につなげていきたい。